



## 世界の家具づくりを目指して

道立北の森づくり専門学院(定員40名)が来月4月のオープンを目指している。すでに定員の8割近い学生を確保できているようだ。道北の旭川を中心に、素晴らしい森づくりの技術者が育成されることになる。

課題は、立派な森づくり専門家が育成されても、その材木を最大限に活かした付加価値の高い活用ができるか否かであり、これは北海道の未来づくりにも関わってくる。

旭川には旭川高等技能専門学院と北方建築総合研究所がある。旭川大学も「ものづくり学科」の創設を検討している。これらの組織が連携し、高い付加価値づくりに取り組む必要がある。このような中、家具クラフトデザインミュージアムは大きな意義を持つものと考えられる。旭川家具クラフトはデザイン力、技術力、耐久力において高い評価を得ているので、世界の家具などを集積し、20世紀のデザイン力等の高い作品群に出会い、刺激を受けることは、今までのものを超えて新しいもの創りに取り組む「創新」へと繋がって

くるのではと思う。

ある方が某新聞記者の表現を引用し、講演で「温故知新」から「温故創新」の時代へ入っている」と話されていたことが心に残っている。戦後、日本はスイスの時計、ドイツのカメラ、アメリカの車に追いつき、追い越す勢いで高度な成長を続けてきた。21世紀は北海道の旭川を中心とした家具づくりで、北欧を凌駕し、付加価値の高い家具づくりで国内外のシェアを拡大し、北海道のGDPを伸ばすことが、北海道の発展に大きく貢献することとなるだろう。

知事も「ほっかいどう応援会議」を立ち上げ、多くの企業人などの応援を得て、北海道を進展させ、日本の国の発展を目指している。東川町も北海道と共同で家具クラフトデザインミュージアム(地元の家具クラフト職人の作品も合わせて展示するもの)を現実化できるように働きかけたいものである。世界へ発信する家具づくり、大きな夢が見えてくる。観光資源としての効果も期待でき、夢を実現したいものである。

夢を実現したいものである。

## 緋色のマドンナ(一般書)

那須田淳/著 ポプラ社/刊



戦後の混乱期、焼き物の里・信楽に住む絵を描くことが大好きな少女、清子。貧しくともせいいっぱい働きながら、陶芸家への夢を膨らませるが、弟子入りを志願して窯元を回っても「女には無理や」と断られてばかり。それでも果敢に挑戦を続け、ついに夢の世界へ飛び込んでいく。朝ドラ「スカーレット」のモデルとなった女性陶芸家、神山清子の情熱的な人生。

## 羊と鋼の森(DVD)

販売元:東宝



将来の夢がなかった外村は、高校でピアノ調律師・板島に出会う。彼が調律したその音に、生まれ故郷と同じ森の匂いを感じた外村は、果てしなく深く遠い森のようなその調律の世界に、足を踏み入れる。ときに迷いながらも、先輩調律師やピアノに関わる多くの人に支えられ、外村は調律師として、人として遅く成長していく。東川町もロケ地となった映画。(134分)

## 貸し出し図書 ビデオ紹介



### せんとぴゅあII ほんの森

【貸し出し】  
図書、紙芝居、雑誌は一人合計10点まで(15日間)  
DVDは一人2本まで(8日間)  
★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています

## こくん(絵本)

村中李衣/作 石川えりこ/絵童心社/刊



退院して大好きなつばさ園に戻ってきたちさとは、体を思うように動かすのが難しい。でも、歩行器があればみんなと歩ける。歩行器を見て「てつだってやる」と言うしゅんくんをきっぱり断ったちさとは、ある日挑戦するしゅんくんの姿を見て、私も滑り台にのぼりたいと思った。ちさとは、こくんってうなずくと歩行器から手を放した。新しい一歩をふみだす物語。